就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	くいーる作業所
住 所	青森市青柳2丁目2-5
電話番号	017-721-6122

事業所番号	0210101481
管理者名	元山 敦史
対象年度	令和5年度

地域連携活動の概要

<活動内容>

青森市・老人介護保険施設ニューライフ芙蓉 実施日程・シフトにより週5日~6日の参加 実施した生産活動・施設内清掃業務委託 施設外就労の概要・館内の清掃業務全般 利用者数等

A班 利用者3名 週5日~6日 交代制 B班 利用者2名 週3日程度 交代制

<目的>

地域連携活動のねらい・利用者の社会参加の機会の確保

地域にとってのメリット

人員不足の場合の人材確保、一般企業の障害者雇用の理解や啓発 対象者にとってのメリット・一般企業での就労訓練をとおし、施設内 で学ぶことの出来ない社会性を身に着けることが出来る。就労に対 し、より責任感を持った仕事として認識することが出来る。

<成果>

実施した結果・

様々

な作業に対し、責任を持って取り組むことが出来るようになった。

得られた成果・手順通り作業を行う大切さや、一般企業内で の礼儀や、社会性を身に着けることが出来た。

課題点・仕事を覚えるまで時間が掛かるのでその間の相手方企業の理解が必要 障害による身体的な特徴も影響を及ぼすことがあるので、受け入れ先、相手方企業の理解が必要

<活動の様子>





青森市内の高齢者入所施設にて清掃業務の施設外就労を実施。施設玄関、廊下、各居室、トイレ清掃業務を実施。当事業所の他に一般企業と合同でシフトを組み該当施設の清掃業務を行っています。

連携先の企業等の意見または評価

ニューライフ芙蓉の清掃業務を平日は毎日行って貰ってます。昨年度に比べ仕事に対する能力が上がってきたと実感しており、作業ヶ所を増やし2グループで作業を行って貰っております。弊社の慢性的な人員不足を解消して貰って非常に助かります。もはや利用者さんは作業に慣れて他の清掃スタッフと遜色ありません。制度や運営規定上の就労時間等の制約が若干みられますが、柔軟に対応して頂き感謝しております。

連携先企業名	有限会社 三良商事	担当者名	久保田

就労継続支援A型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	くいーる作業所
住 所	青森市青柳2丁目 2 - 5
電話番号	017-721-6122

事業所番号	0210101481
管理者名	元山 敦史
対象年度	令和5年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<活動内容>

青森市・老人介護保険施設ニューライフ芙蓉

実施日程・シフトにより週5日~6日の参加

実施した生産活動・施設内清掃業務委託

施設外就労の概要・館内の清掃業務全般

利用者数等 A班 利用者3名 週5日~6日 交代制 B班 利用者2名 週3日程度 交代制

<目的>

利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい

施設内では経験できない作業を学び、清掃業務の障害者雇用への採用の足掛かりとする

利用者にとってのメリット

一般企業での就労訓練を行い、早期に社会復帰を目指すことが出来る

<成果>

| |実施した結果・様々な作業に対し、責任を持って取り組むことが出来るようになった。

得られた成果・手順通り作業を行う大切さや、一般企業内での礼儀や、社会性を身に着けることが出来た。

課題点・仕事を覚えるまで時間が掛かるのでその間の相手方企業の理解が必要 障 居室、トイレ清掃業務を実施。当 害による身体的な特徴も影響を及ぼすことがあるので、受け入れ先、相手方企業の 施設の清掃業務を行っています。 理解が必要

<活動の様子>









青森市内の高齢者入所施設にて清掃業務の施設外就労を実施。施設玄関、廊下、各 居室、トイレ清掃業務を実施。当事業所の他に一般企業と合同でシフトを組み該当 施設の清掃業務を行っています。

連携先の企業や事業所等の意見または評価

ニューライフ芙蓉の清掃業務を平日は毎日行って貰ってます。昨年度に比べ仕事に対する能力が上がってきたと実感しており、作業ヶ所を増や し2グループで作業を行って貰っております。弊社の慢性的な人員不足を解消して貰って非常に助かります。もはや利用者さんは作業に慣れて 他の清掃スタッフと遜色ありません。制度や運営規定上の就労時間等の制約が若干みられますが、柔軟に対応して頂き感謝しております。

今後の連携強化に向けた課題

実施時間の柔軟性への対応や、現場では当社社員と支援員のみのやり取りの為、直接利用者のやり取りが可能になればさらに効率よく業務を行うことができるのではないか。

連携先企業 (担当者)

有限会社三良商事・担当久保田

利用者からの意見・評価

参加した利用者からの意見・評価

- Aさん・作業は問題ない。徐々に仕事も覚えてきている。体力的にきつくない作業だ。
- Bさん・朝の時間が疲れる。清掃業務は徐々に覚えてきている。いい経験が出来ていると感じる。
- Cさん・外部の色々な経験が出来、施設の中の作業と違った業務を覚えることが出来る。体はきつく感じる。
- Dさん・はじめは体がきつかったが今では慣れてきて週4日参加出来ている。特に問題と感じることはない。いい経験が出来ている。
- Eさん・作業に参加する上で、初めは精神的に不安があったが、参加を繰り返すうちに精神面も鍛えられた感じがする。今はほぼ毎日参加出来ている。体力もついてきており、仕事もほとんど覚えている。

様式2-1

令和 6年 4 月 12 日

就労継続支援A型事業所におけるスコア表(全体)

事業所名	くい一る作業所
住 所	青森市青柳2丁目2-5
電話番号	017-721-6122

(I) 労働時間		
①1日の平均労働時間が7時間以上		
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		30
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満	0	
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		点

①90点 ②80点 ③65点 ④55 点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点

(Ⅱ)生産活動		
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支 払う賃金の総額以上		
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度 における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う 賃金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支 のみが前年度に利用者に支払う賃金の総額以上		-20
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賃金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度 における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う 賃金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支 払う賃金の総額未満	0	点

160点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点

(Ⅲ) 多様な働き方(※)		
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		
就業規則等で定めている	0	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている		
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている	0	
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		15
⑤短時間勤務に係る労働条件		15
就業規則等で定めている	0	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている	0	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている	0	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている	0	
小計(注1)		点

※) 8項目の合計点に応じた点数 (注1) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0								
	※)	8項目の合計点に応じた点数	(注1)	5以上:15点、	4~3 : 5	点、	2点以下	: 0,

項目	点数							
			00 -	10 -		05 b	00 -	
労働時間	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点
生産活動	-20点	-10点	20点	40点	50点	60点		
多様な働き方	0点	5点	15点					
支援力向上	0点	5点	15点					
地域連携活動	0点	10点						
経営改善計画	0点	-50点						
利用者の知識・ 能力向上	0点	10点						

事業所番号	0210101481
管理者名	元山 敦史
対象年度	令和5年度

(Ⅳ) 支援力向上(※)		
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		
参加した職員が1人以上参加している	0	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合		
③視察・実習の実施又は受け入れ	•	
いずれか一方のみの取組を行っている		
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合		
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する 制度を設け、全ての職員に周知している	0	0
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を 受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等	•	
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた 規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計 (注2)		点
(※) 8項目の合計点に応じた点数 (注2) 5以上:15点、4~3:5点、2月	点以下: 0点	ŧ.

(V) 地域連携活動

地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している 10

点

1事例以上ある場合:10点

(VI)経営改善計画		
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の 提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	0	0

期限内に提出していない場合:-50点

(Ⅶ)利用者の知識・能力向上		
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	0	10 点

______ 1事例以上ある場合:10点

合計			
45	点	/200点	

就労継続支援A型事業所におけるスコア表(実績Ⅰ~Ⅳ、Ⅵ)

		(Ⅰ)労働ほ	寺間				
前年度(年度)							
雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間 19,426	時間	雇用契約を締結していた延 ペ利用者数	4, 913		利用者の1日の平 均労働時間数	3. 9	時間
		(Ⅱ)生産流	舌動				
会計期間 (4 月~ 3 月) 前々々年度 (3 年度)				_			
生産活動収入から経費 8,246,813 を除いた額		利用者に支払った賃金 総額	15, 296, 884	円	収支	A 7, 050, 071	円
前々年度(4年度)	_			\neg			
生産活動収入から経費 を除いた額 前年度 (5年度)	円	利用者に支払った賃金総額	18, 712, 226	円	収支	▲ 9, 654, 106	円
生産活動収入から経費 を除いた額 2,496,420	Ħ	利用者に支払った賃金総額	17, 540, 517	円	収支	1 5, 044, 097	円
		(Ⅲ)多様な個	動き方		_		
前年度 (年度) における取組 (全体表「(II) 多様だ	(働き方」の名	<u> 各項目において「就業規則等で</u>	ご定めている」と選択した場	合に記載)			
小名数,被收取得一场中小型场积率/2周十 7起床	⊕ ≇10	本を映画し イ衆田子	7 dei de	@##	*************************************	. 冬 从 T. + 广 III 对 相 44	
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		 者を職員として登用す 者を職員として登用す				州条件及び服務規律	
◎免許・資格取得、検定の受検勧奨 に関する制度を定めている ☑	定めて		る削及を □		カ務に係る労働条 トる制度を定めて		
に関する制度を定めている	定めて	<u>いる</u>		- 9	(る利度を正めて	いる	V
(1) 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		· 明 此 欢 ; -		@n+ +	÷山株樹木1-157	SEE BOL AV TOL	
④フレックスタイム制に係る労働条件 ◎フレックスタイム制に係る労働条件を		抒間勤務に係る労働条件 計間勤務に係る労働条件			皇出勤制度に係る Ê出勤制度に係る		
□ フレックスタイム制に係る労働業件を 定めている □	定めて		~	定めて		カ側米件で	
2007	,,,,,,						
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度	(C) // (E)	「休暇等の取得に関する	車項				
○有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度		休暇等の取得に関する					
を定めている	定めて		7 ₹ ₹				
		(IV) 支援力	カ南ト				
前年度 (5年度) における取組 (全体表「(IV) 支援	カウト・の名	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,					
的千尺(3千尺)に8317る状態(<u>主体収)(IV)文法</u>	<u> </u>	- 項目に収組のう選択とした場	<u>口[二配収</u> /				
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会	②研修	・学会等又は学会誌等	において発表	③視系	と 実習の実施又	は受け入れ	
◎研修計画を策定している		、学会等又は学会誌等			的事業者の視察・実習		
◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。]以上発表している 、学会等名			は、他の事業所の視察 的事業者名	※・実習を受け入れてい	გ ⊔
「日郎工夫服している。	実施				17	月 日	·····
※研修名 虐待防止・権利擁護指導者養成研修					事業所名		
研修講師 明星会統括管理者 三上 太一	掲載	日 月	日	実施日	日/参加者数	月 日	人
実施日・受講者数 R5 11月 23日 6人	発表	テーマ					
④販路拡大の商談会等への参加	⑤職員	しの人事評価制度		⑥ピ フ	アサポーターの配	3置	
◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上	◎職員	の人事評価制度を整備		⊚ピア	サポーターを配置	している	
参加している。 □		k人事評価制度を周知し [.]				「障害者ピアサポート研修	多」
※商談会等名		F価制度の制定日	3年 4 月 1 日		受講している		
主催者名		F価制度の対象職員数 3公・見ねち行った者	6名	※配置		~ 月日	
日時		はいる。 は、発音を行った者 は、事評価制度の周知方法	6 名	就業職務			
778		業所内へ掲示		49,127	r 1 12		
② 第二老额压	(A)	を標準化規格が定めた規	放策の罰罪等				
⑦第三者評価 ◎前年度末日から過去3年以内に		₹保年に祝怡かためた祝 30が制定したマネジメ					
福祉サービス第三者評価を受けている □		等の認証等を受けてい	<u></u>				
	※認証	を受けた日 月	日				
第三者評価機関		等の内容					
(VI) 経営改善計画							
◎指定権者である都道府県(指定都市・中核市)✓	<u> </u>	٦					
経営改善計画書へ提出した。	<u> </u>						
※受理日 令和 5年 6月 28日		<u>.</u>					